

### 総合実習 I を終えて

はじめに、日常業務でご多忙中にも関わらず、32日間の総合実習を受け入れていただきありがとうございました。これまで私は病院で整形外科疾患のリハビリをメインに、様々な疾患の見学をして来ました。今回がクリニックでの実習が初めてだったので、実習が始まったばかりの頃は、1回の介入時間の短さをすごく感じました。20分という限られた時間の中で、患者さんのその日の主訴に耳を傾けながらも、評価、治療、効果判定を行うのは難しそうだと思いました。ですが、実習の中で部分的に少しずつ評価、治療、効果判定を体験させていただき、評価から効果判定までの繋がりをイメージする習慣がついていきました。イメージがついてきたことで、どこにフォーカスをおいて体を見ていくかを、少しずつ考えられるようになりました。また、今回は各先生方の介入見学をさせていただけたことで、一つの病態でも様々な視点から見た考え方を知る機会にもなりました。治療について印象に残ったのが、実用動作を相分けして練習していくことでの運動学習の効果を目の当たりにしたことでした。患者さんによっては、リハビリに来る頻度も個人差がある中でも治療効果を出すためには、どれだけその人の痛みに寄り添えるかが大切かということも、先生方それぞれの患者さんとの接し方を見て改めて学びました。介入の合間に実技練習を見ていただいたこと。一つ質問したら、二つ三つとプラスアルファで回答をいただいたこと。いつも熱心にご指導ご鞭撻いただけて、とても良い環境で学ばせてもらえたことに感謝しています。次回の実習、さらには臨床に出てからも、今回経験させていただいたことを糧に日々学び成長していきます。本当にお世話になりました。改めて32日間ありがとうございました。